

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小48) 長崎市立(畝刈小)学校

1 教育目標

豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成

2 学校経営方針

長崎県及び長崎市の教育方針に則り、児童や地域の実態を踏まえ、学校教育目標の具現化に向け具体的な教育活動を推進する中で、児童・保護者・地域、「すべての人に信頼される学校」づくりに、全職員総力をあげて取り組む。そのために、

- 子供の命と心を預かる学校の職員としての責任の重大さを認識する。
- それぞれが、学校経営の一翼を担っていることを自覚する。
- 具体的な実践を通して、本校教育目標の具現化を図る。

ということ、を、共通した思いとして受け止める。

また、子供の実態と学校における働き方改革の視点等から、取組の見直しについて同学年や関係分掌で検討する。職員一人一人がワーク・ライフ・バランスの意識(超勤4.5時間以上ゼロ)の意識をもち、改善へ向けて提案・共通実践する。

3 重点目標

- あいさつ返事日本一
- 1分前行動
- 無言掃除(自分と向き合い心を磨く)
- 静かな廊下歩行(落ち着いた校内環境)
- はきもの並べ(脚下照顧)
- ていねいな言葉遣い(品のある、ふわふわ言葉を使う)

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	90	96	100	「25%ルール」・「CCQ」等の考えを定着させ、教師自身の「人権感覚」を磨き高める「子供ど真ん中教育」の推進に重点を置いた。児童や保護者にも学校生活を前向きにとらえる傾向が大きくなってきている。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	95	98	97	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			94	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			95	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	84	86	66	本年度は、生活委員会主導で全校児童によるあいさつ運動に取り組んでおり、あいさつに対する意識の高まりがみられた。自主的にあいさつをする姿が増えてはいるが、一方で、あいさつをする習慣が身についていない児童もいるので、今後も粘り強く取組を継続する必要がある。 「子供ど真ん中教育」の実践により、本校が行っている「すべての子供を大切に」教師の姿勢が児童・保護者にも伝わってきており、よい評価につながっている。
		挨拶をよくしている	88	88	63	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	84	67	92	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	92	90	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	93	85	97	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95	93	85	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	94	88	61	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	96	93	100	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	95	97	94	毎時間のめあてや活動のゴールを明確に示すことや授業の終わりに学習のまとめや振り返りの活動を行うなどの学習過程の定着を図ってきた。今後も「主体的・対話的で深い学び」を展開する授業づくりを推進し、児童の学力向上につなげたい。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	92	96	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	86	79	81	
	キ ャ リ ア 教 育	将来の自立に向けて適切に指導している	89	94	94	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	95			

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	90	91	100	食物アレルギーやアナフィラキシー対応訓練などの研修を定期的実施し、児童の健康や安全に関する意識向上に努めている。また、養護教諭や栄養教諭が児童の関心が向くような掲示教育にも力を入れている。今後も継続して取り組んでいきたい。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	77	88	64	
		体力向上に努めている	88	96	91	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	76	98	95	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	96	96	97	学校・学年・学級からの通信の発行により、児童の学校での様子を定期的に発信してきた。本年度は、tetoruでの配信の形が増えた。児童の「情報提供」のポイントが低いのは質問項目に「家族といっしょに見たか」という文言があったためと考えられる。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	66	97	100	
	P T A ・ 地 域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	89	99	97	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			94	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	89	93	85	本年度はこれまで着手できていなかった場所や玄関ロビー、中庭等の環境整美を行い、明るい雰囲気や安全な環境が保たれている。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○本校の学校教育目標である「健やか」を具現化する「あぜかり教育」と「そろえる活動」の推進で学校力を高めてきたことは、本年度の学校評価項目の多くが児童・保護者とも高いポイントを挙げていることにつながっていると考えられる。今後も「子供ど真ん中教育」の推進に努めていきたい。

○「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善をしていくことに併わせ、家庭での規則正しい生活習慣や学習習慣の改善につながるような取組を進めることによって、児童の学力向上を図りたい。

○「子供ど真ん中教育」のモットーである「すべての子供を大切にする」精神を全職員総力を挙げて取り組むとともに、家庭・地域との連携をより一層強くすることによって「誰からも信頼される学校」づくりへ邁進していきたい。特に地域力を活用した学習活動などを模索していきたい。

6 学校関係者評価

○地域でも挨拶はよくなっている。一方、友達とのかかわりの様子を見ていると乱暴な言葉を耳にすることがある。学校・家庭・地域の連携をとり合うことによって丁寧な言葉遣いやお互いを尊重する心情を育んでいきたい。

○「丁寧な言葉遣い」「25%ルール」「CCQ」などを重視した「子供ど真ん中教育」が子供同士のかかわり方に大きく影響し、学校生活への安心感や信頼感の評価が向上したのではないかな。今後もこの取組を継続してほしい。

○地域の行事等への積極的な参加・参画を進めていけないか。地域の豊かな人材を生かしながら、特色ある学校づくりに努めてほしい。地域としても、今後どのような協力ができるのか前向きに検討したい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○「丁寧な言葉遣い」「CCQ」「25%ルール」など、どの子供も大切にする「子供ど真ん中教育」を全職員で今後も推進し、「誰からも信頼される学校づくり」に努めていく。

○学校での取組の様子を積極的に発信し続け、子供たちの規則正しい生活リズムづくりや家庭学習の習慣化などを目指し、学校・家庭・地域が三位一体で育む風土づくりに努める。

○地域の豊かな人材や特色を生かした行事や学習活動を構築し、地域を愛し、貢献する心情を醸成する。